# 基礎演習3

責 任 者・コーディネーター		臨床薬学講座地域医療薬学分野 松浦 誠 特任教授 薬科学講座天然物化学分野 田浦 太志 教授				
担当講座·学科(分	}野)	薬科学講座(創薬有機化学分野、天然物化学分野)、生物薬学講座生 防御学分野、病態薬理学講座薬剤治療学分野、医療薬科学講座薬物付 動態学分野、臨床薬学講座(臨床薬剤学分野、情報薬科学分野)			療薬科学講座薬物代謝	
対象学年	対象学年 3					
期間後期		区分・時間数 (1コマ2時間換算)	演習	22 時間(11 コマ)		
単位数 1単位						

#### · 学修方針(講義概要等)

3学年後期では、医療系科目が多く、その内容理解にはこれまで履修してきた科目との連携を強く 意識する必要がある。本講義では、特に、3学年前期科目で履修した科目の要点整理をおこない、関 連科目の実践的な知識基盤の強化を図る。

#### ・教育成果(アウトカム)

物理、化学、生物、薬理学、薬物治療学、薬物動態学および衛生化学の学修を通じて習得した知識について、演習等を通じて要点整理することで、基本的知識の確固たる基盤を形成することができる。また、そうして得た知識基盤を3学年後期配当科目の理解に生かすことで、科目間連携を意識できるようになるとともに、関連科目の内容も理解し、説明できるようになる。

(ディプロマ・ポリシー:2,3,4,5,6,7,8)

### ·到達目標(SBO)

基礎薬学分野 : 物理、化学、生物系の薬学専門科目の SBOs

医療薬学分野 : 薬理、治療学、医療薬学、薬物動態系の薬学専門科目の SBOs

衛生薬学分野 : 衛生系の薬学専門科目の SBOs

#### ・講義日程

(矢) 西 103 1-C 講義室

月日	曜日	時限	講座・分野	担当教員	講義内容/到達目標
9/5	金	2	創薬有機化学分野	辻原 哲也 准教授	3年前期に開講された「有機薬化学 3」の範囲についての復習と問題演習 1. 「有機薬化学3」を通じて習得した 知識について、演習等を通じて要点 整理することができる。 【ICT (Google Forms、Moodle)】 事前学修:関連講義の内容について確 認しておくこと。 事後学修:講義で取り扱った内容について復習し、その改変問題を作成・提 出し自己学修しておくこと。

9/11	木	1	臨床薬剤学分野	高橋 宏彰 講師	3年前期に開講された「医療薬学2」の範囲についての復習と問題演習 1. 「医療薬学2」を通じて習得した知識について、演習等を通じて要点整理することができる。 【ICT (Google Forms、Moodle)】 事前学修:関連講義の内容について確認しておくこと。 事後学修:講義で取り扱った内容について復習し、その改変問題を作成・提出し自己学修しておくこと。
9/18	木	1	臨床薬剤学分野	高橋 宏彰 講師	3年前期に開講された「医療薬学2」の範囲についての復習と問題演習 1. 「医療薬学2」を通じて習得した知識について、演習等を通じて要点整理することができる。 【ICT (Google Forms、Moodle)】 事前学修:関連講義の内容について確認しておくこと。 事後学修:講義で取り扱った内容について復習し、その改変問題を作成・提出し自己学修しておくこと。
10/1	水	4	薬物代謝動態学分野	寺島 潤 講師	3年前期に開講された「薬物動態解析 1」の範囲についての復習と問題演習 1. 「薬物動態解析 1」を通じて習得した知識について、演習等を通じて要点整理することができる。 【ICT (Google Forms、Moodle)】 事前学修:関連講義の内容について確認しておくこと。 事後学修:講義で取り扱った内容について復習し、その改変問題を作成・提出し自己学修しておくこと。
10/15	水	4	薬物代謝動態学分野	寺島 潤 講師	3年前期に開講された「薬物動態解析 1」の範囲についての復習と問題演習 1.「薬物動態解析 1」を通じて習得した知識について、演習等を通じて要点整理することができる。 【ICT (Google Forms、Moodle)】 事前学修:関連講義の内容について確認しておくこと。 事後学修:講義で取り扱った内容について復習し、その改変問題を作成・提出し自己学修しておくこと。

10/29	水	4	天然物化学分野	浅野 孝	助教	3年前期に開講された「天然物化学 1」の範囲についての復習と問題演習 1.「天然物化学1」を通じて習得した 知識について、演習等を通じて要点 整理することができる。 【ICT (Google Forms、Moodle)】 事前学修:関連講義の内容について確 認しておくこと。 事後学修:講義で取り扱った内容について復習し、その改変問題を作成・提 出し自己学修しておくこと。
11/12	水	4	天然物化学分野	浅野 孝	助教	3年前期に開講された「天然物化学 1」の範囲についての復習と問題演習 1.「天然物化学1」を通じて習得した 知識について、演習等を通じて要点 整理することができる。 【ICT (Google Forms、Moodle)】 事前学修:関連講義の内容について確 認しておくこと。 事後学修:講義で取り扱った内容について復習し、その改変問題を作成・提 出し自己学修しておくこと。
11/19	水	4	生体防御学分野	錦織 健児	助教	3年前期に開講された「免疫生物学 2」の範囲についての復習と問題演習 1. 「免疫生物学2」を通じて習得した 知識について、演習等を通じて要点 整理することができる。 【ICT (Google Forms、Moodle)】 事前学修:関連講義の内容について確 認しておくこと。 事後学修:講義で取り扱った内容について復習し、その改変問題を作成・提 出し自己学修しておくこと。
11/26	水	4	薬剤治療学分野	手塚優	助教	3年前期に開講された「医療薬学 1」の範囲についての復習と問題演習 1. 「医療薬学 1」を通じて習得した知識について、演習等を通じて要点整理することができる。 【ICT (Google Forms、Moodle)】 事前学修:関連講義の内容について確認しておくこと。 事後学修:講義で取り扱った内容について復習し、その改変問題を作成・提出し自己学修しておくこと。

12/3	水	4	情報薬科学分野	氏家 悠貴 助教	3年前期に開講された「感染症学」の 範囲についての復習と問題演習 1. 「感染症学」を通じて習得した知識 について、演習等を通じて要点整理 することができる。 【ICT (Google Forms、Moodle)】 事前学修:関連講義の内容について確 認しておくこと。 事後学修:講義で取り扱った内容について復習し、その改変問題を作成・提 出し自己学修しておくこと。
12/10	水	4	臨床薬剤学分野	朝賀 純一 准教授	3年前期に開講された「保健衛生学」の範囲についての復習と問題演習 1. 「保健衛生学」を通じて習得した知識について、演習等を通じて要点整理することができる。 【ICT (Google Forms、Moodle)】 事前学修:関連講義の内容について確認しておくこと。 事後学修:講義で取り扱った内容について復習し、その改変問題を作成・提出し自己学修しておくこと。

· 教科書· 参考書等(教: 教科書 参: 参考書 推: 推薦図書)

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	3年前期に使用した教科書			

#### ·成績評価方法

各講義で実施される確認テスト(85%)とレポート(15%)で評価する。確認テストは 10 - 45 問程度で、MCQ 形式を基本とするが、数間の論述式問題を含む場合がある。

なお、各講義で実施される確認テストの総合平均が70点(100点満点換算)を超えた者にのみレポートの点数を加算して評価する。定期試験は実施しないが、再試験は再試験期間中に実施する。

## ・特記事項・その他

各コマに対する事前学修に 40 分程度、事後学修に 90 分程度を要する。詳細な予習・復習の方法を 初回講義時に説明する。講義後にフィードバックとして Moodle に概況等を掲載する。

#### 当該科目に関連する実務経験の有無 有

本講義の一部は、大学病院における薬剤師の実務経験を有する教員が担当し、医療薬学分野に関する実践的な教育を行う。

## ・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	iPad Air (Apple ME906J/A)		講義資料の閲覧